

事務事業名	丸岡総合福祉保健施設管理運営事業 丸岡			事業コード	03010300106
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	前田 英邦
事業対象	指定管理者、利用者、一般市民				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	地域福祉の充実		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	施設の管理および温泉棟の運営
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

総合的な地域福祉の拠点である丸岡総合福祉保健施設の安全で適正かつ効果的、効率的な管理を行う。

◆丸岡総合福祉保健施設管理運営事業 63,575千円
○需用費（機械器具修繕料） 1,080千円
○委託料（指定管理委託料） 60,000千円
委託先：イワシタ物産 株式会社 期 間：H20.4.1～H25.3.31
○工事請負費（電話設備改修工事費他） 2,350千円
○その他（火災保険料、原材料費等） 145千円

【実績・計画】

H20指定管理料	66,000千円	利用人数	275,204人
事業収入	196,456千円	事業支出	190,630千円
H21指定管理料	61,000千円	利用人数	297,491人
事業収入	196,045千円	事業支出	185,079千円
H22指定管理料	61,000千円	利用人数	286,604人
事業収入	194,658千円	事業支出	184,679千円
H23指定管理料	61,000千円	利用人数	299,511人
事業収入	201,151千円	事業支出	189,019千円
H24指定管理料	60,000千円	利用人数	294,851人
事業収入	195,934千円	事業支出	189,809千円

◆省エネ対策事業 1,447千円
○需用費（設備機器修繕料） 1,300千円
○使用料及び賃借料（デマンド監視システム使用料） 147千円

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉施設費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	60,000千円	千円	千円	千円				
			需用費	1,223千円	千円	千円	千円				
			役務費	91千円	千円	千円	千円				
			その他	7,355千円	千円	千円	千円				
		事業費合計	68,669千円	千円	千円	千円					
		人件費	正職員	0.50人	3,555千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.50人	3,554千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		72,223千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	86千円	千円	千円	千円					
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
		地方債	千円	千円	千円	千円					
その他		600千円	千円	千円	千円						
一般財源		71,537千円	千円	千円	千円						
財源合計	72,223千円	千円	千円	千円	千円						

【事業の成果】	指標名		単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	成果	顧客満足度（良い以上）	%	目標値	50.0	達成率	50.0	達成率	50.0	達成率	50.0	達成率
				実績値	69.6	139.2	69.6	139.2	30.0	60.0	30.0	60.0
	活動	利用人数	人	目標値	290,000	達成率	287,000	達成率	282,000	達成率	277,000	達成率
				実績値	294,851	101.67	299,511	104.36	286,604	101.63	297,491	107.4
	活動	利用料収入	千円	目標値	114,010	達成率	112,865	達成率	109,090	達成率	105,260	達成率
				実績値	109,775	96.29	112,255	99.46	108,498	99.46	111,924	106.33
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

すぐに行える改善提案	現状維持に努める
目標年度 未設定 年度	
取組状況	現状維持に努める
中長期的に取り組むべき改善提案	利用料等の金額を見直しを実施し行政資源の投入の減少に努める
目標年度 未設定 年度	
取組状況	行政資源の投入の減少に努める

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【担当者評価】	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
【有効性】	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	指定管理者制度を導入し、民間事業者により運営されており、効率的に運営されているが、さらに効率的な管理運営を検討していきます。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	指定管理者制度の導入により、民間事業者で運営しています。利用者の満足度も年々向上しており、更に質の高いサービスの提供及び効率的な運営を図る為、民間への委譲等も検討していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設の維持管理費用について、行政からの資金投入が多くなっている。今後は、利用者の理解を得ながら、受益者負担額の見直しを行うことも考えるべきである。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	指定管理者との連携は効率的に行われており、現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	霞の郷温泉内で営業している食堂について、一括して指定管理とすることで指定管理料の削減を図る。			
目標年度	平成25	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	総合福祉保健施設となっているため施設ごとの管理運営方法の検討。			
目標年度	平成28	年度		

【前年度改善案に対する取組状況】	
【担当者評価】	
【所属長評価】	

事務事業名	敬老会事業 丸岡			事業コード	03010400106		
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	高澤 英世		
事業対象	75歳以上の高齢者						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	高齢者福祉の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容	会場設営・式典司会・アトラクション等	
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】	長年のご労苦に感謝し、敬愛の意を表すとともに、その長寿をお祝いするために開催します。						
	昭和12年12月31日以前に生まれ、丸岡町に住民登録のある方を招待して開催いたしました。						
【事業の目的・事業の概要等】	開催日 6月10日(日) 開催場所 丸岡体育館 内容 式典、敬老作文、郷土芸能、アトラクション						
	事業費 ○ 報償費 148千円 ○ 需用費 2,120千円 ○ 役務費 25千円 ○ 委託料 1,646千円						

すぐに行ける改善提案	坂井市として敬老会のあり方を検討し、見直しを図ること		
目標年度 平成25年度			
取組状況	昨年までは出席者の送迎を各地区で行っていたが、H24年度からは開催当日の混雑を避け、出席者の利便性を確保し、安全に参加できるように各地区から会場までの送迎バスを運行した。		
中長期的に取り組むべき改善提案	H26年度から地域が実施主体となり、従来の敬老会というイメージから脱却し、地域住民の世代間交流を深めながら公民館を中心に地域の高齢者と親睦を深めることできる敬老会を開催する。		
目標年度 平成26年度			
取組状況	高齢福祉課を中心に地域との調整を図っている。		

【前年度改善案に対する取組状況】	妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	1,646	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	2,120	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	25	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	148	千円	千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	3,939	千円	千円	千円	千円	千円				
		人件費	正職員	0.30人	2,133	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.30人	2,133	千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	6,072	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	1,782	千円	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円	千円					
一般財源		4,290	千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計	6,072	千円	千円	千円	千円	千円						

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	24年度から送迎バスにより参加者の送迎を行いました。参加率の向上には繋がっておりません。参加率・参加者満足度の向上の為、敬老会を地域で開催することについて、24年度から地域の方々と検討を行っています。			
実施主体の方向性	地域への移管を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	公民館単位で敬老会を開催することにより、参加率・満足度の向上が期待でき、平成26年度からの地区別敬老会の開催に向けて本庁と協力して地元の理解を進めていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	敬老会の趣旨から参加者の増加が見込まれ、地区別開催による事務費等の増加が見込まれます。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	地区別開催により、実施の面では事務量の縮小が見込まれますが、地元からは人的支援の要望もあります。			
すぐに行ける改善提案	26年度からの地区別開催に向けて、地元との協議、説明を進めていきます。			
目標年度 平成26年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	地区別開催の参加者の出席状況を考慮しながら、敬老会開催の可否について検討していきたい。			
目標年度 平成26年度				

【事業の成果】	指標名		単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	成果	参加者	人	目標値	1050	達成率	1050	達成率	1050	達成率	1060	達成率
				実績値	1020	97.14	1021	97.24	1022	97.33	1034	97.55
	成果	参加率	%	目標値	27.4	達成率	27.4	達成率	28.6	達成率	29.4	達成率
				実績値	26.14	95.4	26.8	97.81	27.4	95.8	28.6	97.28
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

事務事業名	介護予防拠点施設管理運営事業 丸岡			事業コード	03010500101
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	前田 英邦
事業対象	高齢者				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	高齢者福祉の充実		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	施設維持管理事業
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	高齢者が要介護に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送れるように、予防事業を行う施設の維持管理を行う。				
	<p>◆介護予防拠点施設の維持管理</p> <p>丸岡地区（やすらぎの家、つどいの家、ふれ愛の家、いこいの家）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消耗品費（施設管理用消耗品） 30千円 ○燃料費（灯油代等） 64千円 ○光熱水費（電気料、ガス料等） 657千円 ○修繕料（施設修繕料） 60千円 ○役員費（電話料、火災保険料等） 168千円 ○委託料（施設維持管理関連委託料（いこいの家指定管理者委託料 9,588千円） ○使用料及び賃借料（CATV利用料等） 200千円 				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	利用者の増加
目標年度 平成25 年度	
取組状況	質の高いサービスを提供し、現在の利用者の満足度を向上させ、認知度をあげ増加に努める
中長期的に取り組むべき改善提案	管理費の削減に努める。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	管理費の削減に努める

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉施設費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	10,275	千円	3,240	千円	千円	千円		
		需用費	600	千円	16,097	千円	千円	千円		
		役員費	163	千円	239	千円	千円	千円		
		その他	165	千円	882	千円	千円	千円		
	事業費合計	11,202	千円	20,458	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.20	人	1,422	千円	0.02	人	136	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	0.00	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.20	人	1,422	千円	0.02	人	136	千円
総事業費		12,624	千円	20,594	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	171	千円	190	千円	千円			
		分担金・負担金	9,588	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	10,549	千円	千円	千円			
	一般財源	2,865	千円	9,855	千円	千円	千円			
財源合計	12,624	千円	20,594	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	地域の高齢者の通所による介護予防事業を行っており、介護予防拠点施設として有効に利用されている。利用者満足度も高く、認知症予防等にも有効と考えている。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	介護予防拠点施設において、NPOが主体となって地域の介護予防に努めている現状を踏まえ、今後も継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	NPOによる介護予防拠点施設として適切に運営されており、現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	事業及び施設管理を高齡福祉課に移管することにより、人員を削減します。			
すぐにできる改善提案	事業及び施設管理業務を高齡福祉課に移管する。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	介護予防拠点施設の管理運営を高齡福祉課に移管した後、NPO等への委託を視野に入れ業務の効率化を図っていきたい。			
目標年度 平成26 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
成果	利用人数（いこいの家）	人	目標値	2960	達成率 2777	達成率 2722	達成率 2808	
			実績値	3090	104.39	3013	108.5	3190
活動	イベント参加人数（いこいの家）	人	目標値	295	達成率 230	達成率 230	達成率 230	
			実績値	330	111.86	348	151.3	246
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

【事業の成果】

事務事業名	幼保園園児健康管理事業 丸岡		事業コード	10040210106	
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	早水 雅章
事業対象	幼保園児				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	児童福祉の充実		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	健康診断の諸検査業務
根拠法令	有	学校保健安全法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	幼保園児の健康診査を実施し、健康の保持増進を図ることを目的とする。				
	<p>◆丸岡幼保園園児健康管理事業189千円 園医による健康診断、検査機関による諸検査</p> <p>○報償費（園医手当） 87 千円 ○委託料（検査委託料） 50 千円 ○負担金（日本スポーツセンター負担金） 52千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	坂井地区医師会および校長会、養護教諭部会等と協議を行い、健康診断内容の見直しを行います。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	これまで眼科と耳鼻科の専門医が行ってきた健診領域を平成24年度からは学校医が総合的に健診を行う内容に変更するための協議を行う。
中長期的に取り組むべき改善提案	専門医健診領域を学校医が総合的に行う。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	専門医健診領域を学校医が総合的に行う。

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	幼稚園費	目	幼稚園総務費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	50 千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	139 千円	千円	千円	千円				
	事業費合計	189 千円	千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	189 千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		189 千円	千円	千円	千円					
財源合計	189 千円	千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	耳鼻科医および眼科医による専門医健康診断を廃止し、毎年実施している学校医による健康診断のなかで、眼科・耳鼻科の検査を実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	学校保健安全法により、学校における校医および学校歯科医により現状どおり実施いたします。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	耳鼻科医および眼科医による専門医健診を廃止し、校医手当ての削減を図りました。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
受診率（内科）		%	目標値								
			実績値	100	---	100	---	100	---		
健康診断の実施園数		園	目標値								
			実績値	4	---	4	---	4	---		
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	丸岡幼保園給食管理事業 丸岡			事業コード	10060405121
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	早水 雅章
事業対象	幼保園児				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	児童福祉の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	学校給食法、学校給食衛生管理基準			
根拠例規	有	坂井市立学校給食センター条例、坂井市立学校給食センター条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市食育推進計画			
事業の概要	<p>成長期にある園児の心身の健全な発達のため、「園児が生涯を通して健康な生活を送る基礎を養う安全で美味しく栄養バランスのとれた給食を提供する」ことにより、健康の増進、体位の向上を図ることは勿論のこと、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に着けられることを目指す。</p>				
	<p>◆丸岡幼保園給食管理事業 3,133千円 ○賄材料費（給食材料費）3,133千円</p>				
事業の目的・事業の概要等					

すぐにできる改善提案	現在丸岡地区内4併設幼保園の給食は、安田、今福、ハヶ幼保園で作り配運していますが、施設、設備共に老朽化が著しいため、施設及び調理機器等の修繕を行う必要があります。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	計画的な調理機器の修繕に努めている。		
中長期的に取り組むべき改善提案	調理方式の見直しおよび運営方法の検討を行います。併設幼保園の今後の開設計画にあわせた新給食配送システムを構築する必要がある。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	効率的に配送できるよう検討している。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	学校給食費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	3,133 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	3,133 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.00 人	7,109 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.00 人	7,109 千円	人	千円	人	千円	人	千円
総事業費	10,242 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	10,242 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	10,242 千円	千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	学校・幼保園との連携を密にして、アレルギー対応食園児への対応等、きめ細かな対応を進めていきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状どおり市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

成果	地場産食材使用率	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
		目標値	%	達成率				
活動	給食実施食数	指標値	食	達成率	41.2	44.3		
		実績値		達成率	7,830	6,485		
		目標値		達成率				
		実績値		達成率				
		目標値		達成率				
		実績値		達成率				
		目標値		達成率				
		実績値		達成率				